



平成23年8月15日

各 位

上場会社名 株式会社 ファーストエスコ
 代表者 代表取締役社長 島崎 知格
 (コード番号 9514)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 小池 久士
 (TEL 03-5299-8521)

平成23年6月期通期業績の予想値と実績の差異について

平成23年6月期(平成22年7月1日～平成23年6月30日)の業績予想について、平成23年5月11日付「平成23年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した予想値と実績の差異について次の通りお知らせいたします。

記

● 通期業績の予想値と実績の差異について

平成23年6月期通期連結業績と予想数値の差異(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,350	240	10	△860	△7,910.96
今回修正予想(B)	6,452	359	130	△1,143	△10,517.28
増減額(B-A)	102	119	120	△283	
増減率(%)	1.6	49.6	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年6月期)	6,499	△752	△989	△2,870	△32,161.22

平成23年6月期通期個別業績と予想数値の差異(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,700	△100	△131	△1,586	△14,589.27
今回修正予想(B)	3,851	30	3	△1,835	△16,884.12
増減額(B-A)	151	130	134	△249	
増減率(%)	4.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年6月期)	3,889	△104	△99	△3,506	△39,291.14

修正の理由

[売上高]

省エネルギー支援サービス事業においては、電力供給不足の懸念からオンサイト自家発電の稼働が向上いたしました。また、この電力不足に少しでも貢献するためグリーンエナジー事業の木質バイオマス発電所2基をできる限り高稼働させる努力をした結果、予想数値を上回る水準で推移いたしました。これにより売上高は平成23年5月11日付けの業績見通しの修正より連結で102百万円増加し6,452百万円、個別では151百万円増加し3,851百万円となりました。

[営業利益]

上記の売上高の増加により修正業績予想に対し、連結では119百万円増加し359百万円、個別では130百万円増加し30百万円の利益となりました。

[当期純利益]

本日公表の「特別損失の計上に関する修正等のお知らせ」の通り、第4四半期末にグリーンエナジー事業の白河ウッドパワールの株式の50%を譲渡したことによる損失の戻入額は概ね予想値と一致しておりましたが、旧電力ビジネス事業発電会社への貸付債権に対する貸倒引当金を計上したため連結、個別それぞれに大幅な特別損失を計上することとなりました。このため、当期純利益では上述の売上高、営業利益の上方修正を上回る減額となり、連結で修正予想より283百万円減少し1,143百万円の損失、個別で249百万円減少し1,835百万円の損失となりました。

今後の見通し

当社グループでは、一連の抜本的事業構造改革が本年度末に概ね完了したことを受け、事業分野の集中による利益率の向上と財務基盤の強化に尽力してまいります。省エネルギー支援サービス事業では、今後も継続するであろう電力供給不足という課題に対し顧客と一丸となってエネルギー使用量の低減に取り組むとともに、環境にも配慮したエネルギーの総合的な管理を提供してまいります。また、構造転換をしたグリーンエナジー事業では、木質バイオマス発電ノウハウを活用した事業モデルをさらに進展させ、積極的に新エネルギー事業領域の拡張を目指してまいります。

今後は、これらの事業分野の進展に努め社会全体のエネルギー利用について、より一層の効率化を図るとともに当社グループの企業体力の拡充を図ってまいります。今後も当社グループはエネルギーマネジメント及びカーボンマネジメントを軸に、なお一層、社会および顧客への貢献を果たすべく鋭意邁進する所存です。

以上